全国ホームレスハウス調査

——自転車日本縦断記——

野田 裕介*

Yusuke NODA

An Investigation of Characteristics of Homeless Huts in All Parts of Japan Experiences of Traveling up Through Japan by Bicycle

l はじめに

2015年度大阪市立大学卒業論文と2016年度日本建築学会大会において、私は「ライフスタイルと住まいづくりからみたホームレスハウスの特性」と題して、論文発表を行った。ここでは、武庫川をはじめとした近畿圏のホームレスハウス15軒において、住まいづくりや生活、コミュニティーについて調査・分析を行った。現代の住まいづくりにはない、工夫の凝らされた作られ方や、コンパクトな生活、そして周辺環境などによる場所性がみられた。

そこで今回は、作られ方や生活についてより視野を広げるとともに、地域による特性を明らかにすべく、ホームレスハウスの全国調査を行うこととした。調査日程は2017年8月15日~10月26日の73日間、約2ヶ月2週間。移動手段は自転車で、約3000kmの日本縦断調査を行った。

本稿では、前半に今回の調査における現段階での研究概要、そして後半では自転車日本縦断の旅行記を記す。

Ⅱ 「ライフスタイルと住まいづくりからみたホームレスハウスの特性 その 2」研究概要

1 はじめに

1.1 背景・目的

環境共生型住宅に代表されるように、エネルギー 消費を低減し、省力化が図られることが求められて いるものの、我々の暮らしにおいて、電力や燃料を はじめとして社会システムやインフラ、カネとモノ 等に依存する生活や住まいは、ますます比重を高め ているように思える。持続型社会においては単に資源消費の抑制に留まらずに、依存型の生活から脱却し、生活スタイルそのものを自立的でコンパクトなもの、「弱さの統合」へと転換する必要があると考えられる。本研究は、自立的で、コンパクトな住まいと暮らしを展開するホームレスの人々に着眼し、ホームレスハウスのつくられ方(敷地・配置・形態)の特質と住まい方や人間関係の独自性を明らかにすることで、一般住宅と相対化することを目的とする。

1.2 言葉の定義

ホームレス

「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる者をいう」(ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法 第2条)と、法律では定義されている。

自分の住処を家と表現している場面が見られるが、都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所としている以上、ホームレスであると定義する。

ホームレスハウス

一般的な家と区別するために、本論文では、ブルーシートやダンボール等で作られたホームレスの住処 を、ホームレスハウスと表現する。

1.3 調査方法

①厚生労働省「全国ホームレス調査(ヒアリング)調査都市別」において、一定の場所で決まって生活するホームレスの数が多い都市を中心に調査地域を選定。

②その地域において支援されている方へ調査協力依頼、ヒアリング調査

③その地域で生活しているホームレスの分布の記録、ヒアリング、写真での記録、図面採集

表1 ヒアリング一覧

	記されて記念を		すのこで目隠し、日中は公園 の日酸にデッキチェアを出し てラジオを聴いて過ごす	梁の隙間を活用、熊本地礁の 影響で20cm 下がった	小森野橋、梁の隙間を活用	二千年橋、天井高 2m.9 畳の広々としたホームレスハウス	豆津橋、現在はいたずらに よって壊されている	テント1棟は生活用、1棟は物置	遺産相談関係でいるんな人が 後に米るのを嫌がったホーム フスやしたこる	公園のペンチで複治りして、 荷物も集会所の裏へ置いている	高架下の広場の中央に配置。 仮設のため、周囲に物が置い てある	3人で暮らすシェアハウス。 原材で構成	歩道に布団を敷いている	支援者が作ったホームレス集 落。中央にリピングがある。 本来は緊急で住まわせる場所	高架下の公園に2軒ドームテントが並ぶ。仲はよいが生活 は別	テントを建てて、日中はベン チに座って過ごしている	ペンチで複泊りして生活、多 趣味で、自称超人	砂筋林の中のホームレス集塔 の一角にある。装装、ダイニ ングキッチン、土間玄関の3 簡展に分かれている	親分がいてみんなを連れてきた。砂粉林のフェンスにくくりつける形で構成	指幹型で白く、入り口には植物が飾られている。入り口脇 に書着がある。	ドームテントにブルーツート がかぶさっている。物々交換 のカフェを運営	TVB2 とともにカフェを運営。 アーティスト活動を行っている。	土間玄関、廣下、2 伽室で構成。 現在 1 部屋は物置。	木の骨組みとブルーツートの 外枝、ダンボールの内枝で構 成	床を上げ、ドームテントを載せ、その周囲に竹をしならせたアーチに ブルーシートを 表アーチに ブルーシートを 張っている	基本的にはベンチに座って寝る る
	コミュニディ	地域との関係	友人が遊びに来る (ヒア リング時も最初に声をか けたのは知り合いらしき 人)	自分からは喋りかけない					散歩に来た人と話す	不動道屋に結除のアルバ イトとして雇われている			を出さない	友達がいる。			自転車記棒と花燈を通り 抜ける人の監視	挨拶程度		7リーマーケット等に出 互、取材もくる	カフェにいらなくなった ものを持って来てくれる	カフェのお客さんと話す		テントがあるから安心し て散歩に来れると言って もらえる	1	·
	n n	他+-11.3との交流	あまりない	以前は10人住んでいた がいなくなった	FOA2 の家を作ったが、 お雨の勢いでもめる	FOA3に誘われて来たが、 もめて出ていくことになる	参言なつ		もらった空き缶を譲る	特になし	なし				みんな顔見知りだが、語 す人は少数		特にない、いなくなった	顔見知りだけど深く関わらない、教会で知り合う	同居人と役割分担がある。 春。線いだお金も一旦ま とめる。	形、色でとやかく言われ るが、他人に言われる筋 合いはない	かつてホームレスハウス メーカみたいな人がい た。カフェに路上生活者 も来る	原材を分け合ったりする	以前は女性と2 人で暮ら していた。	顔見知り、たまに話す		
		介眼・脚珠	ラジオ		タバコ						タバコ		タバコ				映画、ラジオ、 作家活動、絵 描き		音楽が流れている	絵を描く	物 々 交 換 カ フェ を 開く、 絵を描く	物々交換カ フェや囲く、 総を描く	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e			
	生活	収入源	収入はゼロ	アルミ缶拾い	日願い			大阪市住吉区に住所があり、年金を もらっている	持っているマン ションの住所でも らっている年金		缶集め		缶集め		廃品回収、骨董品 市の出店者への卸 売り	,	年金	仕事に行っている	廃品回収、全員の 収入を一緒にして い 使う	絵を売っている	月に 1.2 回働きに 行くのみ アーティ スト活動	絵を売っている	終品回収			
	#	食事	3 友達にもらったり とか	買ってきてコンロで調理	食材を買って、コンロで調理			買う	できるだけ弁当を 買ってくる、火は ばれないように使 う	アルバイト代で買 う、拾う		3人で一緒に食事		イオンヘバスや買い物に行く	イオンで調達。低 収入の日は炊き出 し	,	まとめ買いして調 理、1日2食	食材を買ってきて調理	ガスコンロで作 5。同四人と一緒 c食べる		いろんな人が持っ てきてくれる、た まに炊き出しに行 く					
-		坑 入浴	より トイレの水を浴 びる	ばってんの湯	3.13			元元 -	広げ 銭湯に毎日入る まで まで	ペットボトルに 水を汲んで浴び る	からの 系 れ れ い			- থে		- A	最、下イフかお でい 振って各技へ	い、サーファー用の きく 無粒シャワー たい	行水する。入浴 できる施設もあっ るが行かない。	おって						地下道のトイレ で顕を洗う
三 一 三		撤去への対応	今の 他の公園より かはゆるい	くっ 特になし	- SEE			cが 河川法を気に ドン かけて、固定 した建物は建 てていない	3も これ以上広げ E等 ない、火はで きるだけ使わ ない	なし	gの 万博時、今の 今の 場所を移転先 に指定され、 注意できない			でなっているいをするをする		ンて 昼間はテント をたたむ	fを場所の考慮、 施設とのいい 関係作り	がし 特にこない、 ト、 あまり大きく ト 作り過ぎない 5試	7年 - 11年 -	月に1回たた める形にして いる	ご 月に1回たた 前と んでいる		- 42	- 22	- #3	
1 6797		作り変えの遷移	最近いたずらに遭い、今の 建物は築1ヶ月	誰かが住んでいた跡に入っ た	ホームレス初期に住んだ場 所	FOA3に誘われて、広く たいと考えて移住	FOA3 ともめたため、少し 距離のある場所へ移住	公園で車上生活していたが 追い出された、年1回テン トを買い換える	これだけ扱くやるつもりも なかったので、作り変え等 はしていない	公園内で移動	燃やされたため、今は仮の 住まい。万博のときに今の 場所へ来た		昔は転々とした	以前は草むらの方に住んで いた	3回ほどの引越しを経て米 た。テントも途中で交換し た	公園に言われて転々として きた	苦情によって 2度場所を 移した	満帯海洋沿いを国へ移動し てきた、以前はドームデント、 調象がすごく、プルーシート は最り替える。今の独物も試 行鍵数しながら作られた	目の前を通る歩道が通り抜けできなくなり、入り口に けできなくなり、入り口に 前室を設けた		元々 50m ぐらい先のところに建てていた (阿啓輔と 共作)、土台だけ転用		東北の地震で地割れがあり、引っ越してきた	震災のときに使える水場が あると、友人に誘われてこ こに来た	かつてはかなり大きくで立 派なものを作っていた	
K	uħ	気候への対応	当届時はおりたたんで友 人宅へ避難、西側は半屋 朴で風通しを良くしてい 5	ビニールシートの風よけ			風が強い為、床板を2枚 重ねにする		冬はストーブを焚く		これからもう少し置くに 作る		前もって缶集め			雨対策で木のそばに建て た。台風が来たら木にく くりつける	傘でしのぐ、台風時はコ ンピニへ逃げる	あまり大きく作らず、石 油ストープで概める、砂 防林で地形的にも風の心 配はない		光が入る白、風が強くて もしなる諸鉾型		夏は木酸で涼しい、冬は・昼間は街へ出かける		夏場は常しい。冬は周囲 の人と 2.3 人で雪かきす る		夜はパスターミナルで風 からしのぎ、昼間に暖か い地下道で寝る
	つくられ方	材料	ブルーシート、発泡スチョ ロール、ローブ、すのこ、 既製品テント	ピニールシート	木、ブルーシート、銀マット	木、ブルーシート、銀マット	木、ノパーツート、波板	現製品のドームテント、 ブルーツート	ブルーシート、傘、自転 車	なし	ブルーシート、木、ブリ キの箱	木材、ブルーシート、廃 建具	スポンジ	ブルーシート、米	バト、ブルー II芝	ドームテント	₩	足場パイプ、木、廃建具、 ブラダン	11	養生シート、既製品テントの骨組み、竹	ドームテント、ブルー シート、ボ、ローブ		足場パイプ、ブルーツート、木、波板	アメント	竹、ブルーシート、ドー ムテント、傘、針金、人 工芝	既存ベンチ
		形状	家テト型ン	按型谷	被聲	陸陸	,	747 147	泰		切型 数	片れ流	1	陸原	トイン チェ	トセン	ζ.# .y	切透陰根別、屋	タン 三型	アチ 型	家子ト型ン型		陸甲	陸関	子型一	後 存 工
		物質数	-		2	-	1	-	8	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-			-	-	-	0
		地 (金数)	和	F (#)	午	在		年	#	#	年	年	\vdash	# #	干	在	報	* *	* #	<u>*</u>	#	<u>*</u>	推	4	在	女心道 無
		形式立地	主	番の下	無の	糖の下	種の計	報の下	主公園		五 海	正 高架下	定住 高架下			関び	主 公共施設	1 砂路林	1 砂路林	包包	主公園	包包	出版	公田		助 バスター ミナル、 地下道
		集件/ 個人 形	人定住		人 定住			7 定任	住在	人定住	人 定住	住定住			住定住	次 住	人定住	制 人 定住 (集務)	在	個 人 定住 (集務)	(集落) 定住 (集落)	個 人 定住 (集落)	個 人 定住 (かつ ては集 仕)	個 人 定住 (集落)	個 人 定住 (集落)	を 参
-		*-4.17. 集		13年 個人	年個人		-	10年 個人	10 年 集住	年 個人	4	年 集住		4 集任	集住	無	14年 個人		* # #		14年 側 (集	13年 備 (集	#	悪意	更多)	個人
	34	年齢・	50代 3年	60 ft 13	50代 2年			60代 11	60 ft 10	事 9		49 分09	60 ft -	0	61歳 -			**	13	70代 3年			17			
	基本情報	性別年							第1、 年1			男2、60 女1	П				74	. 63	33		48	. 47	09	09	09	
		小数	1 39	1 38	1 39	-	-	1 38	2 女用	1 38	1 39	8 田女		 	1 38	1 38	1 38	H H	3 28	1 38	1 39	 	1 38	1 38	1 H	1 38
	35/80/55			7	FOA1-a	FOA1-b	FOA1-c	15	31	IV.	rč.	9	= 1	4	19	_	=	2	77		32	23	22	۸1	А3	N1
-		_	a OKA1	KUA1	FO.	FOj	FO/	FOA5	FOB1	K HSA1) AIA5	9VIV	AIA11	AIA		M AIB1	B SZB	EAK KNA1	KNA2	IRVI II	TYB2	TYB3	STB2		MGA3	HKA1
-	100		K A 公園	本	KS A III				B公園	鳥 A 地区	AI A M 9					B公園	岡 B 会館	III A BABAK		京 B公園			E A III	城A公園		道A駅
	福票時間		知 課 元	無囚							愛知 A						d ZS	表 W W		¥ L			ATS	函 MG 集		岩田 衛

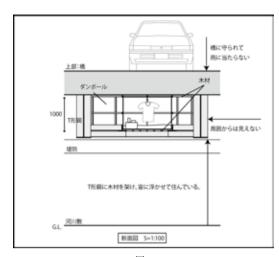


図 1 KUB1 断面図

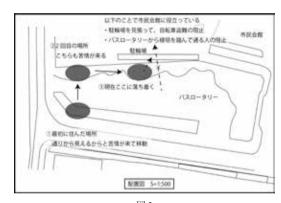


図 2 SZB1 配置図

■調査件数

調査協力者・・・43名

調査事例・・・12都道府県、109件(うちヒアリング: 22件(表1) 写真での外観の記録:76件)(表2)

2 ホームレスハウスの作られ方

2.1 敷地選定

公園、河川敷、橋の下、高架下など公の場を敷地として選んでいる。ホームレスは公共空間の余白空間を利用してホームレスハウス作りを行っている。雨が当たらず日陰にもなる高架下の事例(図1)などの個人のニーズに合わせたものや、行政との関係で来たといった事例[1](以下[]内は表6の数字にあたる)などの様々な外的要因によって選定したものがみられた。

表 2 形状一覧

衣 2 形									
都道府県	場所	事例名	調査件数						
沖縄 OK	A 公園	$OKA1 \sim 3$	3						
	B 公園	OKB1	1						
	C公園	$OKC1 \sim 3$	3						
	D 緑地	OKD1,2	2						
	E公園	OKE1	1						
鹿児島 KG	A 橋	KGA1	1						
熊本 KU	A橋	KUA1	1						
	B橋	KUB1	1						
福岡 FO	久留米 A 川	FOA1 ∼ 6	8						
	福岡 B 公園	FOB1 ∼ 3	3						
	福岡C公園	FOC1	1						
	福岡 D 川	FOD1,2	2						
	北九州E川	FOE1	1						
広島 HS	広島 A	HSA1,2	2						
兵庫 HG	Α 川	$HGA1 \sim 12$	12						
大阪 OS	Α 川	OSA1 ∼ 4	4						
	Bill	OSB1	1						
愛知 AI	名古屋 A 通	AIA1 \sim 29	29						
	名古屋 B 公園	AIB1 \sim 3	3						
	岡崎 C橋	AIC1	1						
	岡崎 D 公園	AID1	1						
静岡 SZ	浜松 A橋	SZA1	1						
	静岡 B 会館	SZB1	1						
神奈川 KN	湘南砂防林 A	KNA1,2	2(約6)						
	横浜 B	KNB1	1						
東京 TY	A JII	TYA	(約150)						
	B 公園	TYB1 \sim 6	6(約15)						
	池袋 C	TYC1 \sim 7	7						
	首都高高架下 D	TYD1 \sim 12	12						
	ЕЩ	TYE1 \sim 4	4						
	F 公園	TYF	複数						
	G 公園	TYG	複数						
埼玉 ST	大宮 A公園	STA1 ∼ 3	3						
	ВШ	STB1 ∼ 3	3(数件)						
宮城 MG	仙台 A 公園	MGA $1 \sim 4$	4						
北海道 HK	A 駅	HKA1	1						

2.2 配置

自分で決める上に公の場所であるため、さまざまな要因によって配置が決められている。管理者に許して貰える場所を探りながら場所を決めたと言った事例(図2)や、地域の人との関係、他ホームレスとの関係、水場との関係、風通しや木陰などの気候、フェンスなどの住まいづくりに使えるものとの関係を考慮して選んでいる事例(図3)などがみられた。

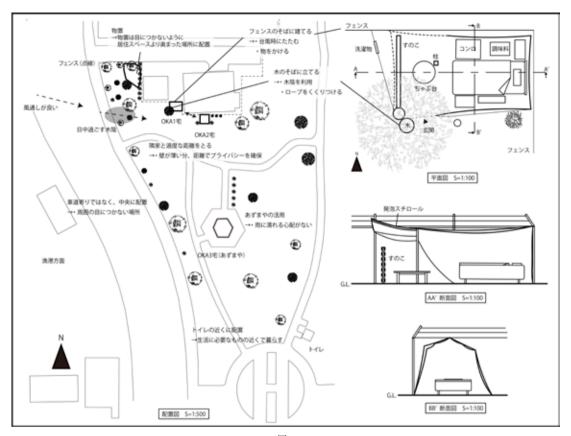


図 3 OKA1 図面

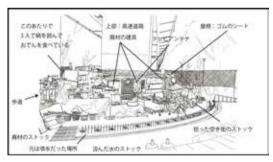


図 4 AIA6 スケッチ

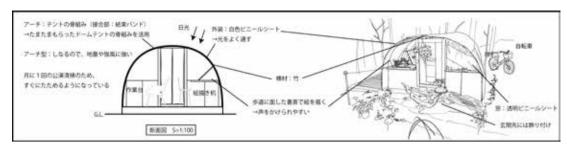


図 5 TYB1 断面図、スケッチ

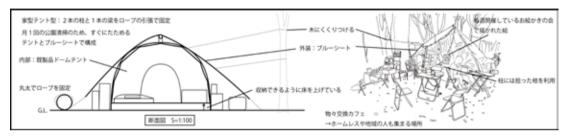


図 6 TYB2 断面図、スケッチ

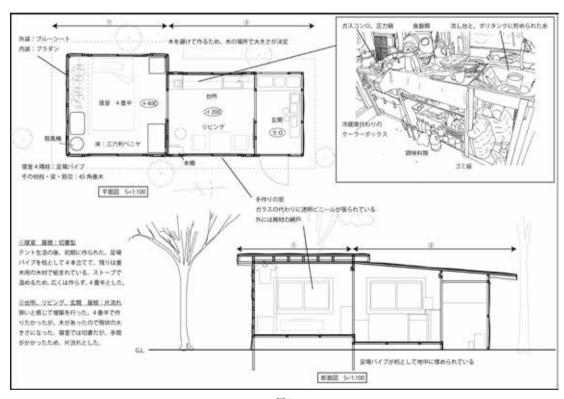


図 7 KNA1 図面、内観スケッチ

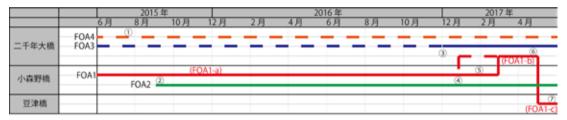
表 3 材料一覧

材料	ブルーシート	木材	既製品テント
特徴	防水性に優れ、安価で手に入れられるため、ほとんどのホームレスハウスで用いられる。屋根、壁そのもの、あるいは防水用の外装として使われている。入手方法としては買ったものがほとんど。	柱や梁、床材、壁、家具など幅広 い用途で使われる。テントなどの 場合もあるので使わない事例も 多い。入手方法はホームセンター で買う、現場の廃材をもらってく るなど。	建てやすい為、使われている事例が多くみられた。ブルーシートを外装材として併用している事例がほとんどであった。使用理由として、折り畳みができるため、撤去勧告がこないからといった例がみられた。購入されたものがほとんど。
写真			
既製品タープ	ロープ	コンクリートブロック	ダンボール
ある程度の強度で、天井高も高く 取れる。壁がないためブルーシー ト等で作成する必要がある。	固定、引っ張る、物を掛けると いった様々な用途に利用される。	基礎に使われる。重量があるため、川の増水から家を守ったという事例もあった。	壁に使われる。スーパーなどで無料でもらえるものだが、濡れると使えなくなるので、雨に濡れない場所であることが条件である。
		計画	
銀マット	既製品ビニールハウス	竿	傘(、パラソル)
床の仕上げとして使われる。コンパネの上に敷く。	容易に大空間を作ることができる。	柱や家型テントの梁として利用でき、ある程度の強度を保ったまま、長い1本の材として使うことができる。ただ木材と違って長さの調節ができない。	雨を通さず、骨組みも組み合わさっているので、屋根や庇として 使われている事例がみられた。
		写真なし	
自転車	すのこ	波板	発泡スチロール
構造材として使われている例がみられた。	もとから木材が等間隔で並べられ、板状になっているので、風を通しの良い目隠しとして使われる。隙間にものを引っ掛けられるといったメリットもある。テントについていたものを敷かずに立てて使っている例もみられた。		天井に使われている事例があった。

表 4 形状一覧

17/4	空期 こ、1	+T/	胜日相	18 7 = 5.1
形	家型テント	方形	陸屋根	ドームテント
特徴	屋根が壁の役割を果たす 為、作り方も簡単。周辺に フェンスや木があれば柱 梁がなくても引っ張りだ けで構成することができ、 雨じまいも容易。	タープに壁としてのブ	柱梁構造としては作り方が容易であるが、屋根に雨がたまらない、しみこまないよう工夫が必要である。	市販のドームテントにブ ルーシートを被せた形。知 識がなくても組み立てる だけで構造がもつので多 くみられる。
写真				
タープ	アーチ	あずまや	依存型	特殊型
	部材をしならせる、あるい は既製のビニールハウス に外装材を張ることで成 り立っている。			様々なものにブルーシー トをまとわりつけて構成 するもの。

表 5 FOA1 の住み替え



- ①FOA4 は建物はあったものの、FOA1 が来たときから姿を見たことはない。
- ②FOA2 が FOA1 の隣へ引っ越してくる。FOA1 は FOA2 の家作りを手伝う。
- ③FOA3 は一時いなくなっていたが、戻ってきた。戻ってきたという挨拶に FOA 1 のところへ来たときに隣に引っ越してこないかと誘われる。
- ④FOA1 は FOA2 とお酒のトラブルで仲が悪くなり、天井の広いところへ引っ越したいとも考えていたので、FOA3 の住んでいる二千年橋へ引っ越すことを決意。
- ⑤200mほどの距離なので、2ヶ月ほどは小森野橋に住みながら建て、引越し。
- ⑥FOA1 が FOA3 ともめ、その勢いで出て行けといわれる。FOA3 の酒グセが悪く、このようなことが何度もあったので、FOA2 や FOA 3 から離れた場所に引っ越すことを決意。
- ⑦3 週間ほど住んだ後、熱中症にかかったことがきっかけで市に相談。現在は施設で暮らしている。
- ®FOA1にヒアリング調査に同行してもらったときに、FOA3と再会。一時喧嘩となるも、誤解によって生まれたもめでとであったため和解。

2.3 材料

材料一覧を表3に示す。材料は、「性能」「コスト」「入手しやすさ」のバランスによって決められている。ブルーシートは防水の性能に優れており、木材は強度がある上に建築現場の廃材を譲ってもらえるため、それらの材料は多くのホームレスハウスで使われている。その中で、それぞれが独自の考えで使用している材料があった。雨に濡れないため無料で手に入るダンボールを壁とした使った例(図1)や、日光を取り入れるためにブルーではなく白色のビニールシートを使用した例(図5)、月1回の公園清掃でたたまないといけないため、簡単にたためるドームテントを使用した例(図6)、自らかつて建築に携わっていたため知識があり、廃材の建具を組み合わせて住まいを作った例(図4)などがみられた。

2.4 形状

形状一覧を表4に示す。雨漏りしない、広さがほしいといった「ニーズ」、組み立てるのが簡単なドームテントを選んだといった「技術」、撤去されないようにといった「周辺環境の影響」が形状を決定する要因となっている。建築の知識があるため、雨仕舞のために試行錯誤しながら切妻型や片流れ型にしたといった例(図7)や、しなるため地震や風に強いアーチ型にしたといった例(図5)がみられた。

2.5 空間構成

限られた空間に生活に必要な機能が詰まっている空間構成がなされている。部屋を効率的に暖めるため、必要最低限の部屋の広さのみとり、狭い空間の中でも荷物が沢山置ける玄関を設けるなど、コンパクトかつ自らのニーズに合わせた住まいづくりがなされている例がみられた(図7)。

2.6 住み替え作り変え

自分で敷地を見つけ、自分で住まいづくりを行うため、ニーズに合わせた住み替え作り変えが行われている。かつてテントで生活していたのを、足場パイプで建物を作り、更に広いスペースが欲しくなったので増築したといった例(図7)や、近くに住むホームレスに誘われた、隣人と喧嘩した、広いところに移りたかったといった理由で引っ越し、作り変えを繰り返している例(図8) (表5)がみられた。

3 ホームレスハウスにおける生活

3.1 生活の特徴

3.1.1 収入

主な収入源としては缶拾いや廃品回収が挙げられた。ホームレスが仕事ができない理由の1つとして住所がないことがある。その中で何かしら住所を得ることで仕事をしたり年金をもらったりといった例[2]がみられた。また、アーティスト活動をして稼いでいるといった多様な収入源もあった[3]。

3.1.2 生活全般

食事に関しては、食材を買ってきて調理するといった例が多くみられた。住まいづくりにおいても、炊事や洗い物をする設備が作られる(図7)。 その中で、支援団体による炊き出しが充実している地域が多く、炊き出しに飽きたら缶拾いで稼いだお金で食べたいものを食べるといった例[4]もあった。

インフラがっ整っていない環境下で生活するホームレスにとって、水の調達方法を考えることは、敷地を選ぶことにも影響するぐらい大切なことである。基本的にはトイレや公園の水道で水を汲んで使う。東日本大震災のときに水が止まらなかった公園へ知人に誘われて住むようになり、現在ではその公園が唯一仙台で残っているテント村になったという例がみられた[5]。

入浴に関しては銭湯に行く、もしくは公園の水を浴びるといった例が多くみられた。サーファー用の無料のシャワーがあり、そこで体を洗うといった例もあった[6]。

3.1.3 余暇活動·趣味

外で暮らすならではの余暇活動がなされている。 植物が好きで、季節によって咲く花を楽しんでいる といった例[7]や、自分がアーティストであること を活かして、毎週絵を描く会を開いているといった 例[8](図6)、趣味の夜釣りから、テントを張って寝 るようになり、そのままホームレスに転じたといっ た例[9]がみられた。

3.2 コミュニティー

居住形態を集住型、集落型、個人型に分類する(図9)。

3.2.1 集住型ホームレスハウスにおける人間関係

集まって住むホームレスがみられた。基本的には一緒に暮らすが食事などは別といった事例が多い。その中で、3人で1つの鍋を囲んで食事をとっていた事例(図4)や、親方が人を集めてきて、収入の管理なども一括であるといった例[10]がみられた。



第さが難しいため、二層になっている 発表: ブルーシート 内部: 既製品ドームテント (別合部: ビニールテープ) 最高部: (ビニールテープ)

図 10 MGA3 断面図

図 8 久留米周辺地図

	集合刑	沙態①	集合开	杉態②	- 凡例		
	集住型	個人型	集落型	単独型			
ダイアグラム	A • •	•	▲	•	: 当事者		
特徴	壁など建物の一部、 リビングなど空間の 一部を他人と 共有しているもの	1人で生活 しているもの	周囲に他人が 住んでいるもの	周囲に人が 住んでいないもの	▲:他人 : ホームレスハウス		
調査件数	11集住 29件	55件	20集落 264件	43件			
集合 パターン	①建物の一部を 共有している →集住型かつ単独型	②集住かつ、 他人が住んで →集住型かつ	いる 周囲に	で暮らしているが、 に他人が住む 人型かつ集落型	④1人で生活している →個人型かつ単独型		

図 9

集住型、集落型、個人型分類

3.2.2 集落型ホームレスハウスにおける人間関係

集落を形成するホームレスハウス群がみられた。 きっかけとしては、管理の強さが関係しているもの があった[1]。外で暮らすので、ホームレスハウス 特有のコミュニティがみられた。隣に住む人の住ま いづくりを手伝ったり(表5)、もらってきた廃材や 食材を分け合ったり[11]している。

3.2.3 近隣ホームレスとの人間関係

缶拾いや炊き出し等で顔を合わせるため、集落でなくても近隣と顔見知りにはなる[12]が、あまり関わりはない。その中で、手に入れた空き缶を近くの人に譲るといった例があった[13]。

3.2.4 地域との人間関係

地域の方とは通りすがりに挨拶をする程度の関わりであった。その中でその場所の役に立っていると

いう例がみられた。SZB1では市民会館の花壇に足を踏み入れている人をやめさせたり、自転車置き場の近くにいるため、自転車の盗難が減った[14]。また、テントを建てていることで安心して散歩できるといった声がある[15]。

4 ホームレスハウスの特性

ホームレスハウスづくりにおいては自らでその場の環境や状況に合わせて住まいづくりを行うため、様々な要因の影響を受けて形態が決まっている。そのため、場所性や地域性が現れる。同じドームテントの周りにブルーシートを被せるといった作り方でも、東京ではたたみやすいからといった理由であった(図6)のに対し、仙台では寒いので壁を2重にしている(図10)といった理由であった。

表6 ヒアリング内容

- [1] (ここの場所を選ばれた理由は?なんでここに来たとかは?) それはね、話せば長くなる。白川(公園)住んでたんだわ。博 覧会あったろ
 - (はい) あんとき追い出されたわけ。その条件にこの場所を、 移転場所を
 - (ここは大丈夫?) いいってことじゃないけど、まあしょうが ねえかと。それでここに住んでる。だから今出てけとは向こ うも言えない。/AIA4
- [2] それで今は、住所登録もして、だから住所はここではないんだけど、教会の関係で、心の広い方で、住所を貸してくださるって言うもんで、そこに住所登録をして住民票を置いて、マイナンバーもきちんとして、税金も払って、保険証も持って、働こうって格好ですよ。/KNA1
- [3] (普段お仕事とか、収入とかってどうされてるんですか?生活 されるお金は)作品作ってうってるんだけどね。/TYB3
- [4] アルミ缶でね魚とかね肉とか買って食べてる。炊き出しはおんなじメニューなんで。たまには魚も食べたい。だからアルミ缶で買う。/AIA19
- [5] 友達が、前ここにいた人が、山形の人なんだけど、仲良かったけども、その人がこっちにおいでって言うから、近くにトイレもあるし、水もあるから。だからこっちの方に来て。(トイレとか水場は近いところを使われてるんですね?)テニスのところにトイレがあって、(震災時に)水が止まんなかったんだよ。/MGAI
- [6] すぐそこに公衆トイレがあって、そこにはシャワーもあるしさ、水道も使えるし、だから水の便もいいよって。あ、ここは確かにいいなと思って、それでここに住もうと思って来た。 (KNA1
- [7] 彼岸にいつも咲くから彼岸花。花好きなんだよ。 (いいですね、ここからきれいに見えますね) 赤と白なんだけ ど、ここは赤。私の好きな色。植物好きなんだよ。 (いろんな花咲きますか?このへん) すごいよ、これ金木犀、 これが10月になるともうちょっとで咲くけどね。それからケ ヤキでしょ、かえでと、これサザンカが12月ごろになると咲く。 楽しいよ。/SZB2
- [8] (この辺の絵とかも描かれたんですか?) これは、毎週火曜日 に集まって描いてる絵で。お金になるのは、外へ行って絵描

- いたりとか。/TYB3
- [9] (もともと荒川の河川敷に来た理由って何かあるんですか?) 俺釣りしててさ、あ、いいなと思ってさ。テント張って夜釣りしてたから。めんどくせえからここ住んじゃおかって。/ STP2
- [10] (この場所を選んだ理由とか、ここに来られた理由って何かありますか?) うちらの場合はほとんど親分が声かけてくれて。長くいる人は長くいますし、1日でいなくなったりする人もいる。
 - (中略) (それぞれが稼いできたお金とかは?) 一旦まとめて使う/KNA2
- [11] ここに住んでる人たちはみんな廃材とか集めてきて、みんなで分け合ったりしてるので/KNAI
- [12] (ここ以外に住んでる方で知り合いとかいらっしゃいますか?) いるんじゃないかな?わたしはほら、基本的にそういう人とは関わることがないんで。でも、顔見知りの人間はいるよ。私はカトリック教会に出入りしてるから、そういう関係で炊き出しに行ったりすることがあって。毎日行くわけじゃないけど、週に2日3日充電しに行くから。/KNAI
- [13]けどたまに気つこてさ、かんかんいっぱい持ってくる人がいる。それは知り合いに全部もって行ってやりよるたい。/FOB1
- [14]すごいんだよ。ここちょっと空いてるのわかる?みんなここ渡っちゃうんだよ。ここね、近道だからってみんな通るの。(ワイヤーがはってますね。)これ張ったんだよ。バスから降りた人が向こうへ渡るから。近道がないから。みんな通るから枝が折れちゃってさ、みんな踏んでわたっちゃうから。あたしが考えて、あたしがやってるの。

(マナーの悪い人も多いですね。) 役に立ってるんだよ。あそこにテレビのモニターがあってね、館長の部屋から見えるのよ。だからね、出てけって言いにくい。結構役に立ってるからね。(いいですね、そういうの、もちつもたれつ。) おまわりさんが言うにはさ、自転車を盗む奴がいるんだけどさ、前は多かったのに減ったんだよ。あたしか見てるから。 お客さんも自転車を安心して置けるって。自転車泥棒がいるだろ、そうするとわざとさ、こうする(自転車置き場へ視線を向ける)。(SZBI

[15]みんな散歩の人とかは挨拶してく。散歩に来る人は、テント 張ってるから安心して散歩に来れるって言ってたね。/MGAI

5 結論

ホームレスハウス作りにおいては自らのニーズをきちんと理解しながら、不要なものは切り捨てるといった効率の良い住まいづくりがなされている。また、都市の人々の生活の中で溢れ出たものを活用しながら、余剰空間をうまく見つけて、生活を組み上げている。自分で作ったものであるため、完全体ではないことを理解しながら、住替え、作り変えを行って、壊れたら直すということを繰り返して住んでいる。利益だけでを考えて集まって住むのではなく、生活の豊かさを求めた集住、コミュニティーづくりも行われている。ホームレスハウスには現代の住まいにはないコンパクトな生活があるといえる。

Ⅲ 自転車日本縦断記

1 なぜ自転車日本縦断なのか

私は小さいころからボーイスカウトに所属しており、テントを担いで自転車旅をするといったことは高校生のときにもやった。高1で京都と白浜、高2で愛媛まで、当時はママチャリで友人2,3人と行った(図11)。電車や自動車では早すぎて気づかないものに出会えて楽しかった。その記憶があり、自転車旅をするタイミングをずっと探していた。日本全国のホームレスハウスの調査をしたかったのと、自分が建築設計の道を進む上で、今まで暮らしてきた場所の常識しか知らないのはまずいという思いから、このタイミングに自転車で日本を縦断することに決めた(図12)。

2 人情に触れる旅

この旅は全行程で72泊73日であった(表7)。その うちゲストハウスなどのお金を払って泊まったのが



図 11 瀬戸内一周サイクリング ママチャリの荷台に荷物をくくりつけている

27泊、テント泊が13泊、フェリーや夜行バスなどの車中泊が5泊、実家4泊で、残りの23泊は知り合いの家などに泊めてもらった。こちらから事前にお願いした人、SNSで縦断すると言ったらおいでと声をかけてくれた人、実家にお邪魔させてもらった人、簡易宿所の空きスペースに泊めてくださった方などさまざまで、本当に周りの人にお世話になった。

※以下本文は、

- 3 人情に触れる旅
- 4 スケジュール管理「日本縦断ノート」
- 5 自分の知らない日本
- 6 1人旅であること
- 7 自転車旅であること
- 8 まとめ

との章構成が続く。

この部分については、学術雑誌の趣旨とは少々異なる内容となるため、下記webに掲載することにした。

http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/pdf/space21/21_noda separate volume.pdf

を参照いただきたい。

IV おわりに

この2ヵ月半非常に得る物が多かった。そして、水内先生、各地の支援団体の方々、沿道で応援してくださった方々、各地の知り合い、その他大勢の方に支えていただいた。この場を借りてお礼申し上げ



図 12 名古屋まで応援に来てくれた友達に撮ってもらった

たいです。本当にありがとうございました。

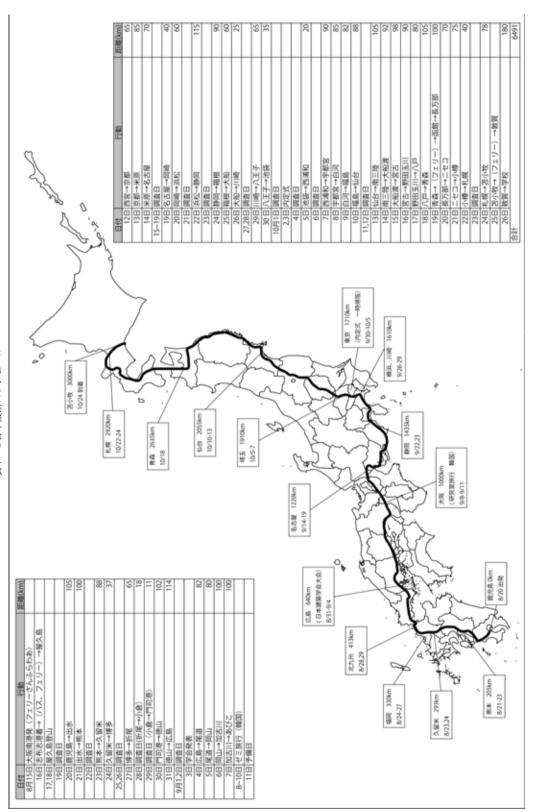


表7 ヒ日本縦断スケジュール